



本日の流れ

- インド学仏教学とは？
- 研究の進め方（博士論文のちら見せ）
- 仏教学の魅力と意義

仏教学とは？

- ❖ **仏教** 2600年前にインドで始まった宗教
《三宝》
 - 仏 開祖：釈迦牟尼
 - 法 教義：大蔵経、パーリ三蔵など多数
 - 僧団 教団：出家と在家からなるサンガ（僧伽）
- ❖ **仏教学** 仏教とは何か？を知るための学問
 - 仏教徒のための聖典解釈・教義の確立
 - 知的好奇心に基づく研究

2つの仏教学

- **仏教徒のための**聖典解釈・教義の確立
 - インド…中観，唯識，如来蔵思想などの論書制作
 - 中国 …教相判釈
 - 日本 …各宗派の教義研究 ※宗学研究
- **知的好奇心**に基づく研究
 - 18世紀にイギリスで始まった学問 ※インド学

イギリスで始まったインド学

18世紀、イギリスがインドを植民地として支配

サンスクリットの発見 ラテン語・ギリシャ語と類似

→比較文献学

→言語学の誕生（ヨーロッパ言語の起源を探る学問）

→インド学の誕生

（ヴェーダ研究、**仏教研究**、ジャイナ教研究など）

→**インド学仏教学の確立**

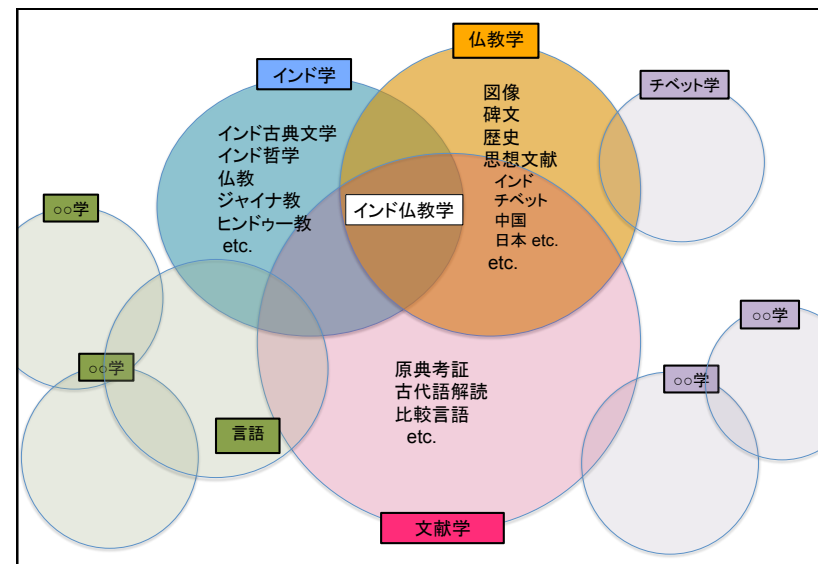
文明開化と共に日本にも、もたらされる

現在の仏教学

- **思想・文献研究** 仏教文献の解釈など
* 仏典
- **歴史研究** 仏教の伝承過程の解明など
* 歴史書
- **図像研究** 仏教図像、遺跡等の研究
* 仏像・仏画
- **フィールドワーク** 現在の仏教信仰の研究
* 現地調査

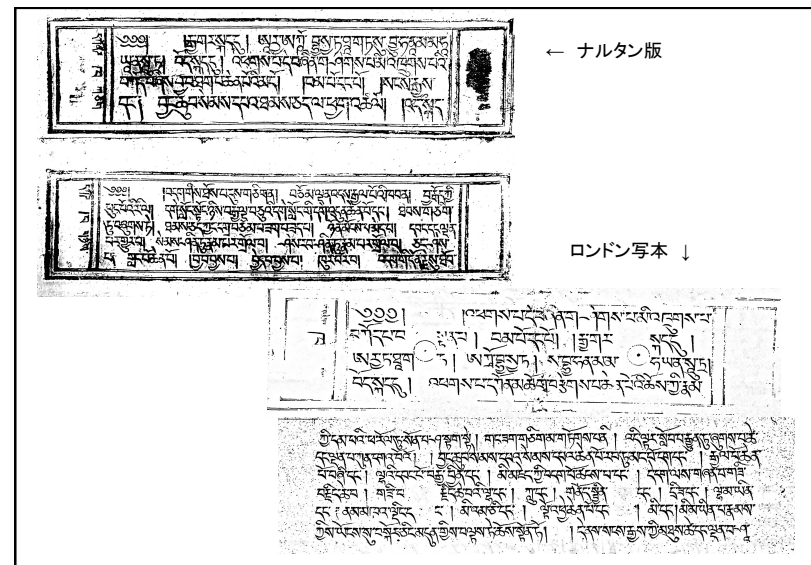
思想・文献研究の仏教学

- **インド仏教**
* サンスクリットやパーリ語原典・漢訳・チベット語訳など
- **チベット仏教**
* チベット大蔵経、蔵外文献、歴史書など
- **中国仏教**
* 漢訳大蔵経、蔵外文献、歴史書など
- **日本仏教**
* 漢訳大蔵経、宗祖の著作など



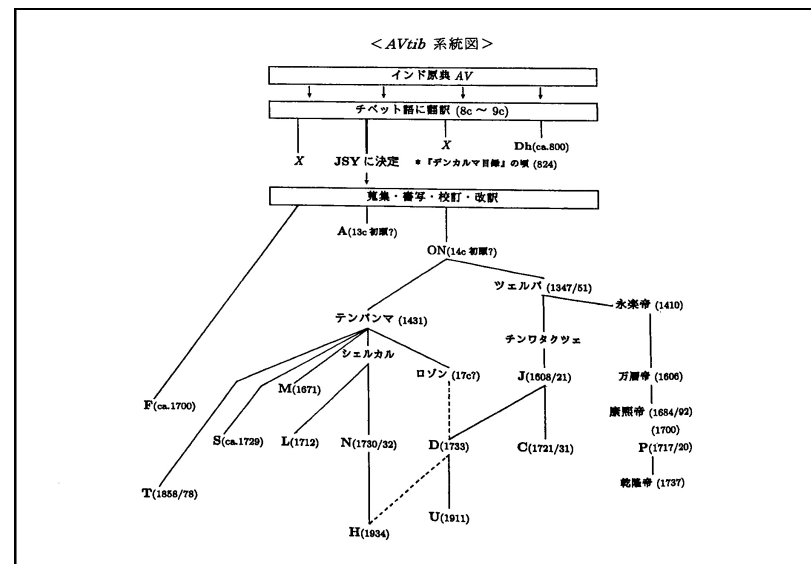
インド学研究の手法

- 文献を決める → 『阿闍世王経』
- 原典を集める → **インド原典 未発見**
- 翻訳経典を集める → **漢訳2種類**
チベット語訳1種類
- 主たる資料を決める → **チベット語訳**
- 主たる資料の版本写本を集める → **11本**
- テキスト校訂作業 → **11本の版本写本の比較**



校訂・和訳・内容研究

- 11種類の中から底本を決める
- 校訂の方針を決める
- 入力作業
- **異読(variant)から系統図を作る**
- 漢訳と比較しながら和訳作業
- 用語など脚注を作る
- 内容研究



校訂・和訳・内容研究

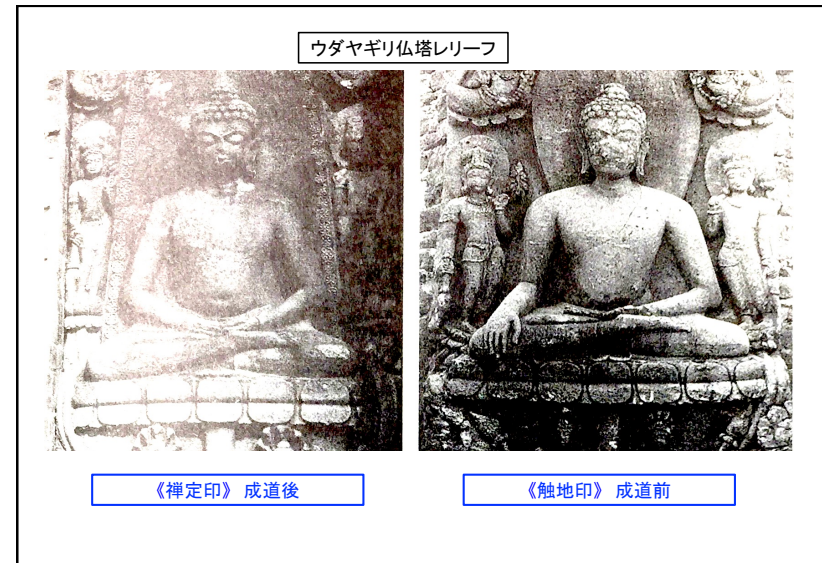
- 11種類の中から底本を決める
- 校訂の方針を決める
- 入力作業
- 異読(variant)から系統図を作る
- 漢訳と比較しながら和訳作業
- 用語など脚注を作る
- 内容研究

[illegible]

今進めている研究

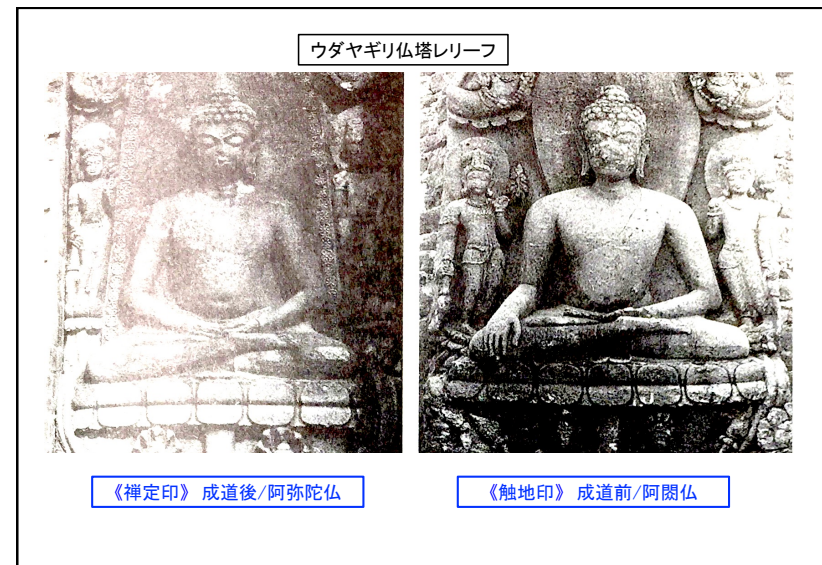
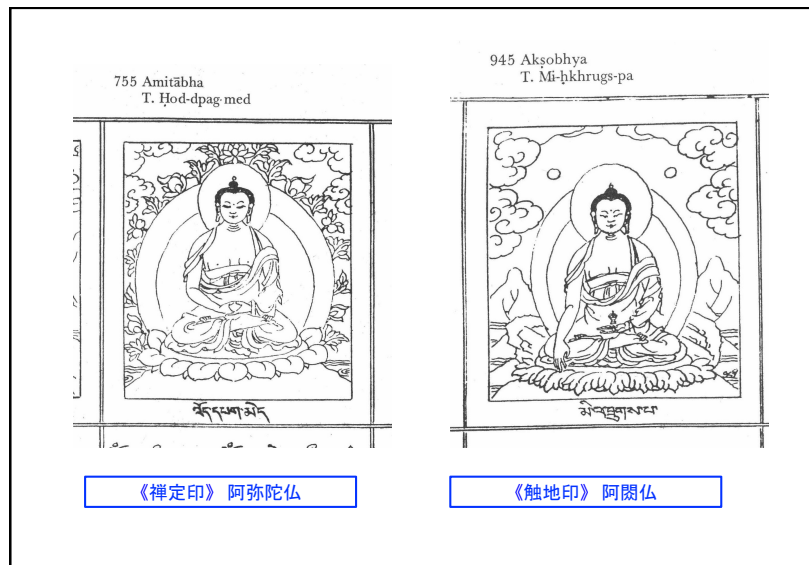
- 大乘に登場する諸仏の起源について探る
文献資料とレリーフ・仏像から
- 釈尊の成道(さとりを得る)前後の姿を検討
- 成道直前: 触地印・降魔印
(右手を大地につける姿)
- 成道後: 禪定印
(臍下丹田で親指をつけて両手で輪をつくる姿)





大乘仏教の仏たち

- 東西の仏国土にいらっしゃる仏さまたち
- 東)阿閼仏: **触地印**・**降魔印**
(右手を大地につける姿)
- 西)阿弥陀仏: **禅定印**
(臍下丹田で親指をつけて両手で輪をつくる姿)



大乘仏教の仏たち

- 釈尊の成道前後の様子を描いたレリーフを見た人々が、別々の仏がいると勘違いした？
- 触地印姿 → 阿閼仏
- 禅定印姿 → 阿弥陀仏
- このように発展し、大乘仏教で、新たに様々な仏が誕生するようになった？

インド学仏教学の魅力

- 誰も明かしたことのない資料を読み解く
- 当時の求道者の思いを追体験
- 仏さまの教えを再確認

これからの仏教学

- 今までの仏教学

- ◎各分野ごとに孤立、棲み分け、不干渉
→情報が共有されない

- ◎信仰とは切り離す傾向 →社会に還元されない

- これからの仏教学

- ◎別分野との連携、協力 = 情報の共有

- ◎実際の信仰と結びつける努力 = 社会に還元

仏教徒による研究

仏教徒以外の人による研究

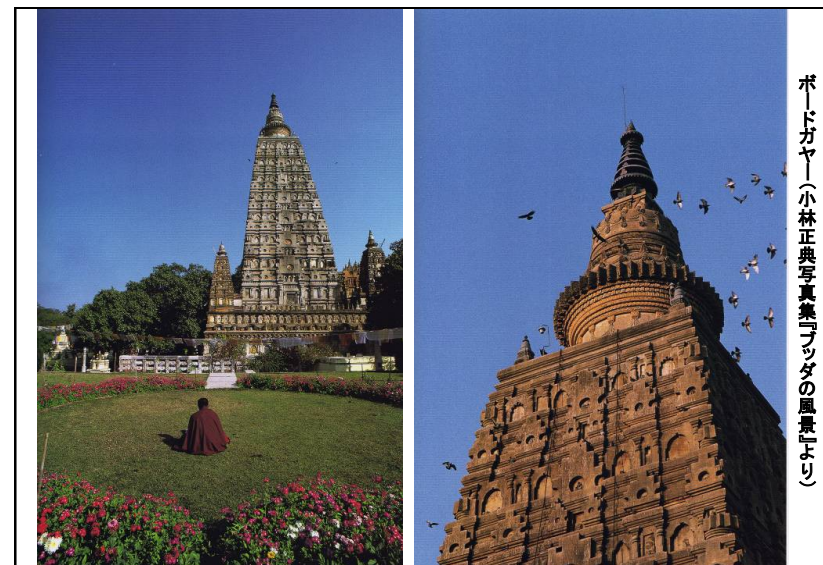
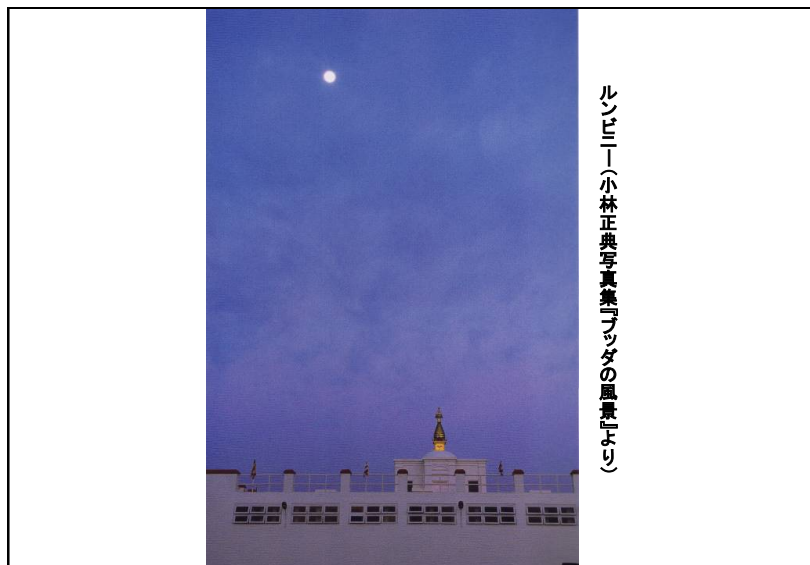
仏教の3つの宝

- 仏 = 法を明らかにした人、開祖、釈迦牟尼

- 法 = 真理、教理教学、経典

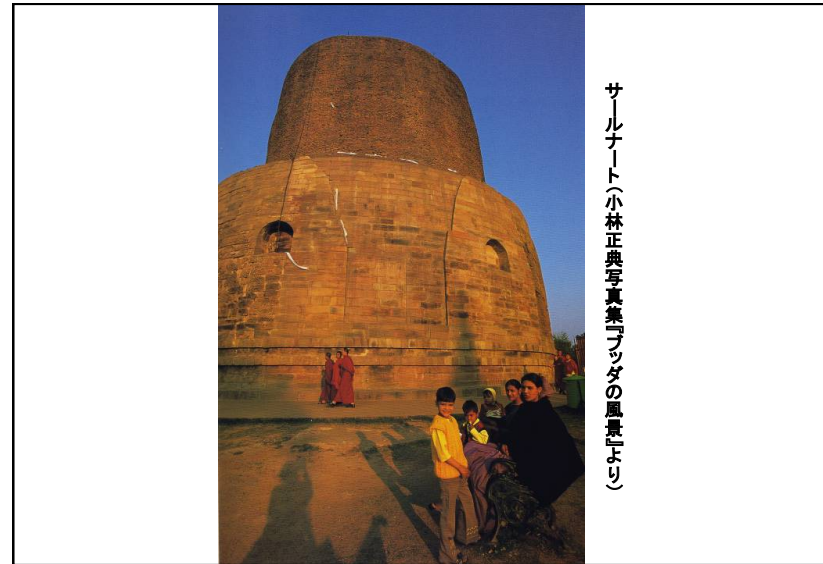
- 僧伽 = 法を守り継承していく集団、教団

★仏教は人から人へと伝えられてきた





ボドガヤー 金剛宝座 (小林正典写真真集『ブッダの風景』より)



サルナート(小林正典写真真集『ブッダの風景』より)



クシナガリーの涅槃堂(小林正典写真真集『ブッダの風景』より)